

政策分析シート（平成19年度）

政策名	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成	政策No	04	部名	教育委員会事務局		
関連部名		部長名	友塚 克美	内線	3300		
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]					
目的	未来を拓き、たくましく生きる子どもを育成するために、学校教育の充実を図るとともに生きがいや自己実現、人生の豊かさなどの源となる生涯学習やスポーツ活動等を促進する。						
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)	
	荒川区学力向上のための調査 小学校基礎達成率（算数）	80.5%	81.3%	82.2%	85.0%	100.0%	
	荒川区学力向上のための調査 中学校（数学）基礎達成率	64.7%	68.7%	66.1%	70.0%	100.0%	
	不登校発生率(小中合計)	1.3%	1.2%	0.9%		0.0%	
	生涯学習センター利用者 数	124,553	125,651	117,507	126,000	130,000	
体育施設の利用者数	689,888	687,163	701,130	702,000	720,000		
現状と課題 （指標分析）	<p>小中学校の全校において、算数、数学、英語での理解度に応じた習熟度別を実施しており、その成果が本区実施の学力向上のための調査に実施教科の達成率向上という形で表れている。今後は、個に応じたよりきめ細かい指導を行い、教育効果を上げていく必要がある。</p> <p>不登校問題の解決に向けて、平成19年度は、教育センターの教育相談の体制を充実し、小学校に対する臨床心理士の巡回相談を一校当たり年間35回に拡充した。</p> <p>国際化、情報化、科学技術の急速な進展など社会が激しく変化している今日、区民が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる社会を実現する必要性が増大している。</p> <p>高齢化や健康志向の中で、スポーツ活動等を通して、いつまでも健康で暮らしたいとの区民要望は強くなっており、多様なスポーツ環境の整備・促進が課題である。</p>						
今後の方向性	[平成19年度]						
	<p>学力をさらに向上させるためには、学力の基礎となる国語力の向上が鍵となっている。読書活動の充実を図るとともに、国語力育成の施策を充実させることが必要である。</p> <p>地域社会の活性化、高齢者の社会参加、青少年の健全育成などの観点から、学習する機会や場の提供、指導者の育成など、生涯学習の基盤整備に努めていく。</p>						
	[平成20年度以降]						
	<p>19年度に策定する「学校教育ビジョン推進プラン」に基づき、学校教育の一層の充実に努める。</p> <p>19年度に策定する「生涯学習推進計画」に基づき、区民が知識や経験を地域社会に生かすことができるような生涯学習の仕組みづくり等の基盤整備に努める。</p>						

政策分析シート（平成19年度）

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	前年度 設 定	今年度 設 定	
確かな学力の定着・向上[04-01]	A	A	児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるために、国語力の育成を核として、一層重点的に取り組む必要があり、施策の優先度は極めて高い。
創意と工夫にあふれた教育の推進[04-02]	A	A	先進的に実施している本施策の充実に努め、カリキュラムの質的改善につなげ、地域に信頼される特色ある学校づくりを推進する。
体験学習等の推進[04-03]	A	B	本施策を通し、体験活動の充実に図り地域と一体となった児童・生徒の健全育成に努める。
学校における健康・体力づくり[04-04]	B C	B	児童・生徒が生活の多くを過ごす学校における保健活動の役割は重要である。法に定める学校設置者としての責任を果たすとともに、生涯にわたる健康の基盤づくりを推進するうえで、必要な施策である。また、食育は子どもの健康づくりの基礎であり、学校給食の充実に図ることは、食育のより一層の充実に資することから、優先度の高い施策である。
魅力ある教師の育成[04-05]	B	B	子どもの教育に情熱と使命感をもつとともに荒川の教育に誇りをもち、意欲的に取り組む教師を育成する重要施策として、一層の充実に目指す。
学校施設等の整備[04-06]	B	B	計画的な修繕・学校適正配置計画の作成は、限られた予算を計画的・効率的に活用し、学校環境の整備・充実に進めるためぜひとも必要である。
小中学校・幼稚園の運営[04-07]	B	B	義務教育の実施は自治体の基本的な責務であり、その根幹である小中学校の運営や就学前の幼児教育の充実は、社会の変化に対応しながら着実に推進する必要があるため、重要な施策である。
余暇を利用した学習機会の提供[04-08]	B	B	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、運動・遊びの場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与するものであるため、重要な施策である。
地域と連携した学校づくり[04-09]	B	B	開かれた学校づくりを目指し、保護者に対する説明責任を果たすとともに、学校経営の透明性と信頼性の向上を目指す。
子どもの健全育成[04-10]	A	A	学校派遣型の教育相談室の新たな体制づくりを核として、区内全体の教育相談体制充実・改善を目指す。
家庭教育の推進[04-11]	B	B	家庭における教育はすべての教育の出発点であるので、引き続き家庭教育の推進は重要である。
生涯学習活動の支援[04-12]	B	B	区民の自主的な生涯学習を支援するために、学習する機会や場の提供、指導者の育成など、区が基盤整備に努めることは極めて大切であり、施策の優先度は高い。
図書館サービスの充実[04-13]	A	A	図書館は、区民の生涯学習の拠点として、一番身近な存在であり、自立した区民の成長と地域の活性化の礎となる公共施設であることから、当該施策の優先度はきわめて高いと考える。
生涯スポーツの推進[04-14]	B	B	スポーツは、人生をより豊かにし、健康で充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求に応える世界共通の文化であり、区民が生涯を通じて主体的にスポーツに親しむことは大変重要なことであるので、当該施策の優先度は高い。